

みんなの英語

— 伸ばせ、コミュニケーション能力 —

1. 設定理由

グローバル化の進展と、知識や情報、技術が社会の基盤となる「知識基盤社会」のありようは、異なる文化や文明との共存や国際協力の必要性を増大させている。現代社会において、このような時代を切り開く人材の育成は喫緊の課題であり、そのため英語教育の拡充強化が不可欠である。

一方で、多くの小学校教員は英語指導の専門教育を受けておらず、大きな不安を抱えていると思われる。どの学校でもどの教員でも実施できる英語指導のあり方はどのようなものかを探りたいと考え、本主題を設定した。

2. 研究の視点

(1) ALTとの授業づくり

ALTと担任との役割分担を明確にしながら、授業の活性化を図る。

(2) 教育課程の工夫

積み重ね・繰り返しが十分にできるよう、教育課程を工夫する。

(3) 英語にひたる環境

英語環境の整備をすることで、児童の英語への興味関心を高める。

3. 研究内容

○担任中心の授業づくり（コミュニケーションの場の工夫をして）

○評価規準の精選

○学習の流れの明確化

○「読む」「書く」活動の内容精選

○モジュールでのとりくみ

○年間指導計画の作成の工夫と見直し

○ALTとの打ち合わせ時間の確保

○クラスルームイングリッシュ・校内掲示

4. 結 論

○担任が中心となって授業を行い、評価規準を精選したことで、評価活動が容易となり、学習活動の改善に生かすことができた。

○学年の担任がそろって打ち合わせをすることで、授業内容を共有することができ、担任の不安感を解消できた。

○日頃から英語に触れる環境を作ることで、児童の「読みたい」「書きたい」という気持ちを喚起することができた。また、クラスルームイングリッシュを統一したことで、担任の英語を話すことに対する不安感が軽減した。

印旛支部

佐倉市立臼井小学校

生 方 秀 子

櫻 井 哲 也

研究の概要

1 研究主題

みんなの英語 ～伸ばせ、コミュニケーション能力～

2 主題設定の理由

(1) 学校教育目標及び児童の実態から

学校教育目標

自ら学び、心豊かでたくましい子どもの育成

めざす児童像

「かしこく やさしく たくましく」

○勉強する子（知）

○やさしい子（徳）

○元気な子（体）

本校は今年度で創立145年目を迎えた。印旛沼のほとりに位置し、周囲は豊かな自然に恵まれた学校である。地域とのつながりも深く、様々な行事を始め、日々の教育活動にも、温かい支援を受けることができている。

本校では、学校教育目標の具現化を図るため、めざす学校像として「子どもにとって安全で安心な学校」「子どもにとって楽しく、魅力的な学校」「あいさつや歌声のひびく明るい学校」を掲げて、教育活動を行っている。

本校の児童は、明るく穏やかで、新しいことにも興味を持ち、喜んで取り組める児童が多い。学習の態度もまじめで、校外の活動でも、場をわきまえて、約束事をきちんと守ることができる。一方で、自らの考えを進んで主張したり、それをもとに行動したりすることには課題もある。

そこで、外国語活動に取り組むことにより、児童が豊かな表現方法を身につけ、他と関わる楽しさを味わい、進んで主張したり行動したりする態度を育てたいと考える。相手意識を持ち、自他の考えを大切にし、いつでも・どこでも・誰とでも、よりよいコミュニケーションを図ることのできる児童を育てたいと考え、主題を設定した。

(2) 小学校学習指導要領から

小学校学習指導要領では、外国語活動の目標を「外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。」としている。児童がその柔軟な適応力を生かして日本語とは異なる外国語の音に触れることで、言葉の豊かさや大切さに気付くことができると考える。また、注意深く言葉を聞いて相手の状況や気持ちを理解しようとしたり、他者に対して自分の思いを伝えるこ

との難しさや大切さを実感したりしながら、積極的に自分の思いを伝えようとする態度を育み、中・高等学校の外国語科で目指すコミュニケーション能力をも支えるような素地を養っていききたい。

(3) 社会の課題から

21世紀は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代であると言われている。この知識基盤社会やグローバル化は、異なる文化や文明との共存や国際協力の必要性を増大させており、このような時代を切り開く人材の育成をめざし、英語教育の拡充強化が課題となっている。また、2020年には、東京オリンピック・パラリンピックを控え、世界の国々から来る人々をもてなし、共に平和の祭典を楽しむことのできる日本人を育てることも望まれている。こういった時代の要請により、2020年には、3年生から外国語活動が始まり、5年生からは英語が教科として位置づけられることになった。

一方で、多くの小学校教員は、英語指導の専門教育を受けておらず、大きな不安を抱えていると思われる。しかし、どの学校でも実施しなければならない日は近づいてきている。どの学校でも、どの教員でも実施できる英語の指導はどのようなものか、先行研究を通してそれを探るべく、主題を「みんなの英語」とした。この「みんな」には、児童のみならず、教員も含まれているわけである。

3 研究の視点

【視点1】 ～ALTとの授業づくり～

ALTと担任との役割分担を明確にしながら、授業の活性化を図る。

①児童の実態にもとづくアプローチのために台本を考える。

②授業と評価の一体化 ～PDCAサイクル～

授業ではコミュニケーションの場を工夫する。

③学習の流れの明確化 (Hi, friends!を参考に)

④「書く」「読む」をどうもりこんでいくか、小中連携・小小連携により、指導内容を精選していく。

< 視点1について >

①ALT・JTEとの授業づくりは、児童の実態をよく知っている担任が中心となって授業を進めていくよう、シフトチェンジしていく。

②授業では、相手意識を持ち、「英語で〇〇する」ようなコミュニケーションの場を設定し、それを評価していく。また、振り返りカードを作成する場合は、以下の3観点から評価規準を設定し、その時間の目標に沿った項目の評価を行う。

(コ) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

(慣) 外国語への慣れ親しみ

(気) 言語や文化に関する気付き

③学習過程は5つ (Greeting・Warming up・Activity・Reflection・Greeting) にまとめる。

④「書く」「読む」ために「文字」に慣れていく。「読む」ためにはフォニックスも取り入れ、中学校英語へつなぐ。

【視点2】 ～教育課程の工夫～

積み重ね・繰り返しが十分にできるよう、教育課程を工夫する。

- ①モジュールでの取り組み
- ②年間指導計画の作成の工夫と見直し
- ③ALTとの打ち合わせ時間の確保

<視点2について>

- ①モジュールは担任単独でも実施していく。
- ②年間指導計画は昨年度末に見直ししたものを有効に利用する。実施しながら、指導計画についても評価をし、よりよい内容にしていけるよう、加筆修正していく。
- ③ALTとの打合せは、時間割に位置づけられた時間で行うが、行事等で行えない場合は、昼休み等を利用し、確実に実施できるようにする。

【視点3】 ～英語にひたる環境～

英語環境の整備をすることで、児童の英語への興味関心を高める。

- ①校内・教室掲示
- ②委員会活動
- ③クラブ活動
- ④クラスルームイングリッシュや他教科での英語活用
- ⑤スピーチコンテストへの参加

<視点3について>

- ①教室掲示は、曜日・天気など、日常生活で活用できる単語について、全教室同じものを掲示する。
- ②放送委員会が、給食時や清掃時に、英語によるアナウンスを行う他、各委員会でも活動の中に積極的に英語を取り入れていく。
- ③ALTと担当者で、英会話クラブの活動を行う。
- ④「クラスルームイングリッシュ」(全教室に配付)を参考に、英語の時間だけでなく、他教科や特別活動などでも英語を活用する。
- ⑤スピーチコンテストへの参加を募るとともに、コンテスト前には壮行会を行い、全校児童の英語への興味関心を高める。

4 これまでの取り組み

2014年度（平成26年度）～2016年度（平成28年度）

文部科学省 教育課程特例校指定

佐倉市教育委員会指定 研究モデル校

<2014年度…計画>

A L T（Assistant Language Teacher）2名とJ T E（Japanese Teacher of English）1名とともに、「みんなの英語 ～伸ばせ、コミュニケーション能力～」を研究主題として研究に取り組み始めた。当初は、A L TやJ T Eに授業の流れや指導内容を提案してもらい、授業中の発問や指示も、多くの部分を担ってもらっていた。初年度ということで、理論研修や実技研修を行い、臼井小としての授業スタイルを模索した。また、授業における具体的な評価の場面も明確にしてきた。年度末には公開研究会を行った。

<2015年度…実践>

今後の外国語活動を見据え、担任が主となって授業づくりをするよう、シフトチェンジを始めた。前年度に課題となった点を改善しつつ、児童の実態をふまえた内容・流れを考えた。小中連携・小小連携として、臼井西中学校・王子台小学校（2015年度より文部科学省教育課程特例校に指定）とともに、研究を進めてきた。年度初めには、小中連携会議を開いて情報交換を行ったり、授業研究会をお互いに参観したりすることで、小学校での学びを、中学校へ円滑につなぐことができることをめざした。年度末には、年間指導計画の見直しをし、段階的なおかつスパイラルに学習できるようにした。

<2016年度…評価>

教科化を見据え、外国語活動における評価の仕方を再検討した。評価規準を精選し、児童の自己評価である「振り返りカード」の形式も統一した。また、5、6年生のモジュールを単元の中に位置づけ、ロングの授業の内容と関連させた内容で実施をするようにした。3年間のまとめとして、公開研究会を行った。

時間割

外国語活動の時間割は以下のように作成している。4時間目には、各学年2クラスとも専科授業を位置づけ、二人の担任がそろってALTと打ち合わせできるようにしている。

モジュールはALTと一緒にできるよう、2クラスが時間をずらして行っている。例えば、月曜日は、6-1が「モジュール→1時間目」の順、6-2が「1時間目→モジュール」の順で行う。

5年生は、木・金曜日はALTと行うが、あと1日は担任のみで実施する。

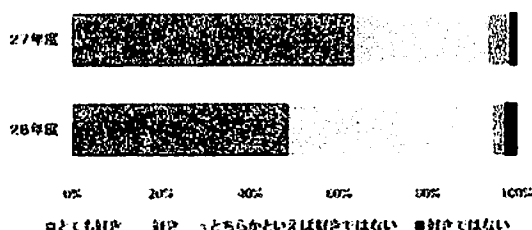
	月	火	水	木	金
モジュール	6-1	6-1	6-1	5-2	5-2
&					
1校時	6-2	6-2	6-2	5-1	5-1
2校時		4-1	6-1	3-1	5-1
3校時		4-2	6-2	3-2	5-2
4校時		④打合せ	⑥打合せ	③打合せ	⑤打合せ
5校時					
6校時					

表の丸数字は学年（例 ④…4年）

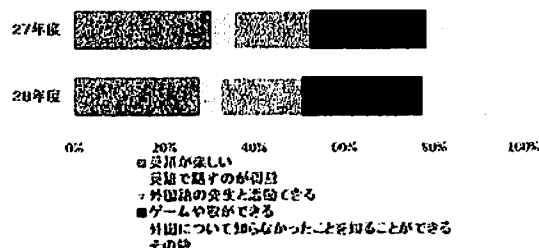
実態調査と考察

児童の英語に関する実態の変容をつかむため、実態調査を行った。なお、2015（平成27）年度は1～6年で調査を行ったが、2016（平成28）年度は、1年生が年3回の授業のみになったため、2～6年生のみで調査を実施している。（※2年生は、1年生時に年間15時間外国語活動を実施した。）

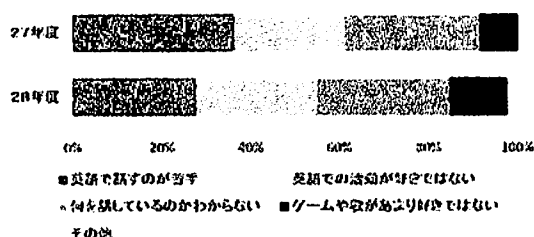
問1. 英語の学習は好きですか？



好きな理由

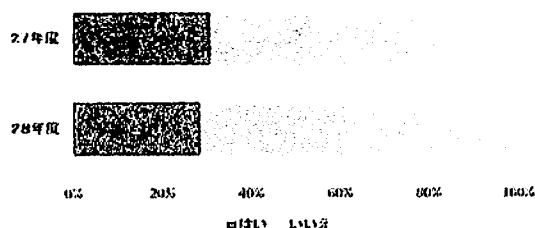


好きではない理由

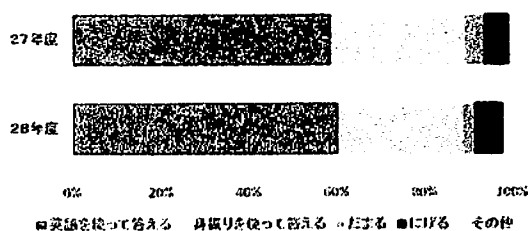


問1「英語の学習は好きですか」では、約90%が「とても好き」「好き」と肯定的な回答をしている。好きな理由は「英語が楽しい」「ゲームや歌ができる」等、様々な面を挙げている。「好きではない理由」では「英語で話すのが苦手」とともに「英語での活動が好きではない」「何を話しているのかわからない」という回答も多い。担任主導で授業づくりをしていく中で、児童の実態をふまえた内容や進め方を吟味していく必要がある。

問2. 学校以外で英語を話す機会がありますか？

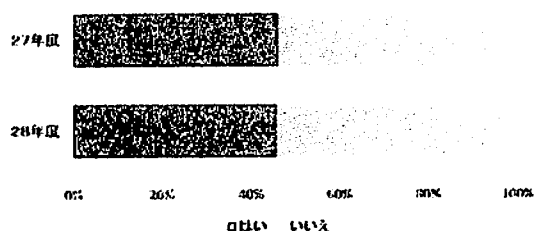


問3. 外国の人に話しかけられたらどうしますか？

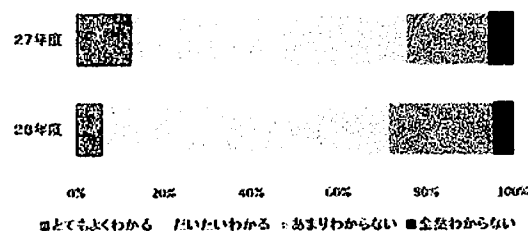


問3「外国の人に話しかけられたらどうしますか」では、「知っている英語を使って答える」「身振りをを使ってがんばって答える」という回答が約90%を占めている。自分ができることを最大限に活用し、なんとかコミュニケーションを図ろうとしているようである。英語の学習を通し、自分の考えをもとに進んで行動する態度が育まれていると思われる。

問4. 学校以外で英語を聞く機会がありますか？

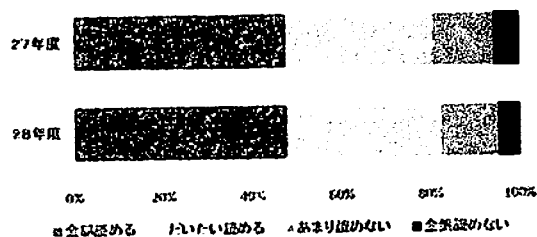


理解できますか？

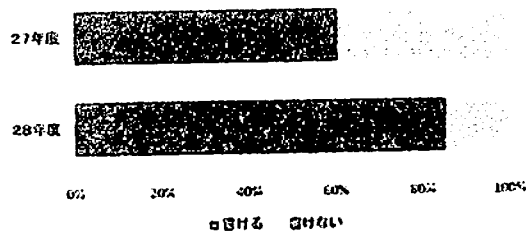


問4「学校以外で英語を聞く機会がありますか」では、「はい」が約40%だが、そのうち約70%の児童が「とてもよくわかる」「だいたいわかる」と肯定的に答えている。この回答については、高学年と中・低学年で差が見られた。高学年では、87%が肯定的な回答をしていたが、中学年では56%、低学年では62%となっていた。中・低学年では、学校以外で英語を聞く機会があっても、それを聞き取るのはやはり難しいと感じているのではないかと推察される。

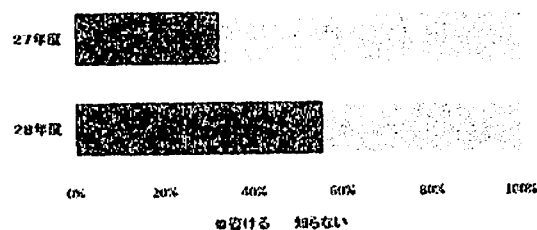
問5. アルファベットが読めますか？



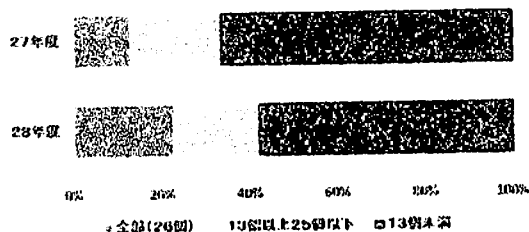
問5. アルファベットが書けますか？



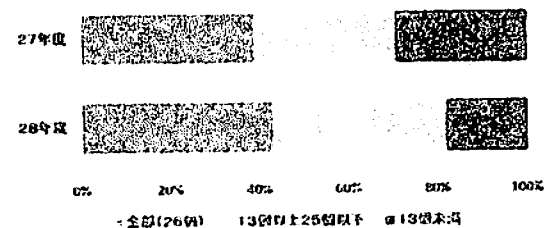
小文字でも書けますか？



小文字が書ける。

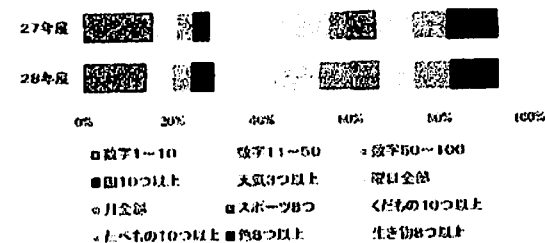


大文字が書ける。

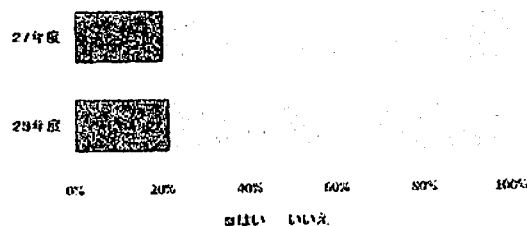


問5では、アルファベットの読み書きについて質問している。「全部読める」「だいたい読める」と答えた児童は約80%、「書ける」と答えた児童は約60%から約80%に増加している。掲示物などで日頃から英語に親しむ環境を整えたり、書く活動を、児童の実態に合わせながら、無理なく授業の中に取り入れてきたりした成果と考えられる。

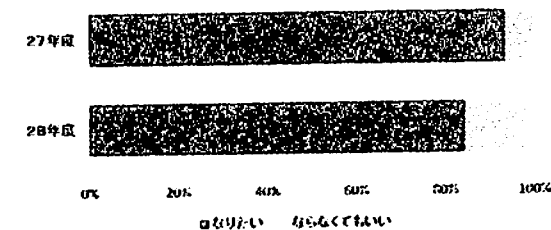
問6. 英語で話せることを教えてください。



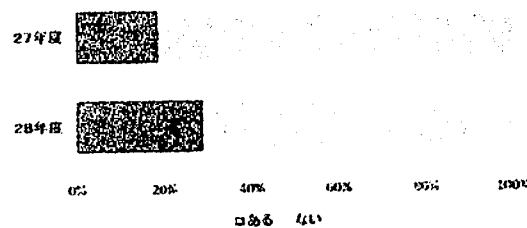
問7. 英語を習っていますか？



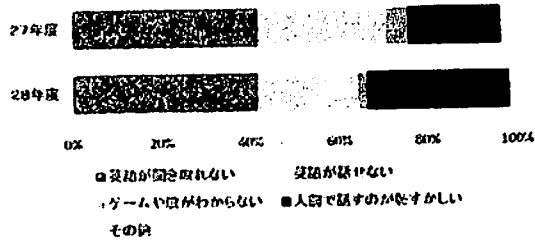
問8. 英語が話せるようになりたいですか？



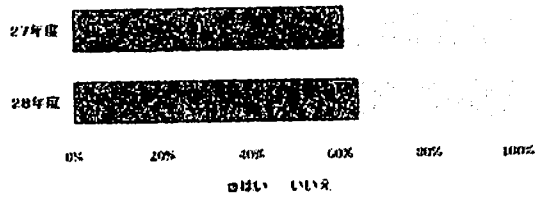
問9. 英語の勉強で不安なことはありますか？



どんなことですか？



問10. 中学校での英語の学習は楽しみですか？



問8「英語が話せるようになりたいですか」で、「なりたい」という回答が減少している。特に低学年では半数近くが「ならなくてもいい」と回答しており、理由として「使い道がない」「外国に行かない」等を挙げている。また、問9「英語の勉強で不安なことはありますか」では、「ある」という回答の割合が増え、「英語が聞き取れない」とともに「人前で話すのが恥ずかしい」という理由が多くなっている。学習の目的を明確にし、個々の実態に合わせた無理のない活動で、児童に自信を持たせることが大切であると考ええる。

問10は小中連携を鑑み、6年生のみに質問している。中学校での英語の学習を楽しみにしている児童が約60%から約65%へと増加している。理由としては「もっと新しいことを学びたい」「英語が好き」「自信がある」等を挙げている。英語の学習を積み重ねてきたことで、英語によるコミュニケーションができる楽しさがわかり、それが中学校での英語学習に対する期待感につながっていると考えられる。

成果と課題

<成果>

【視点1】 ～ALTとの授業づくり～

- 担任が中心となって授業を進めることができるようになった。
- 担任が評価規準を精選したことによって、授業や児童の評価をしやすくなり、学習活動の改善に生かすことができた。
- 児童がALTやJTEの発音を十分に聞いたことで、音の違いに興味を示すようになった。
- フォニックスを通して、文字を意識する児童が増えた。
- 児童の「書きたい」という思いをもとに活動することで、授業内容に広がりがあった。

【視点2】 ～教育課程の工夫～

- モジュールの時間があつたことで、児童の実態に合った予習や復習ができた。
- 単元の中に、モジュールを位置づけて構成することができた。
- 学年の担任がそろって打ち合わせをすることで、授業内容を共有でき、担任の不安感の解消につながった。
- 授業直後に打ち合わせを設けたことが、次時の効果的な授業づくりにつながった。

【視点3】 ～英語にひたる環境～

- 日頃から英語に触れる環境を作ることで、児童の「読みたい」「書きたい」という気持ちを喚起することができた。
- クラスルームイングリッシュを統一し、その使用に努めたことで、担任の英語を話すことに対する不安感が軽減した。

<課題>

【視点1】 ～ALTとの授業づくり～

- 担任の指導力の向上を図り、さらに担任中心の授業づくりを推進する必要がある。

【視点2】 ～教育課程の工夫～

- 授業直後の打ち合わせ時間をすることができない場合の対応を考える必要がある。

【視点3】 ～英語にひたる環境～

- 人的・文化交流、英語を使って活動する場を工夫する必要がある。

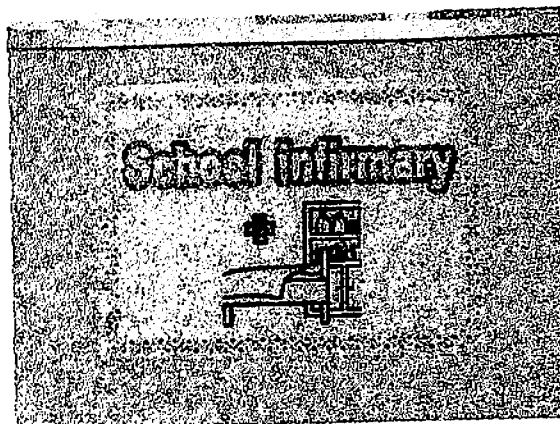
資料

資料

掲示物



(職員室入り口の掲示)



(保健室入り口の掲示)



(図工室入り口の掲示)

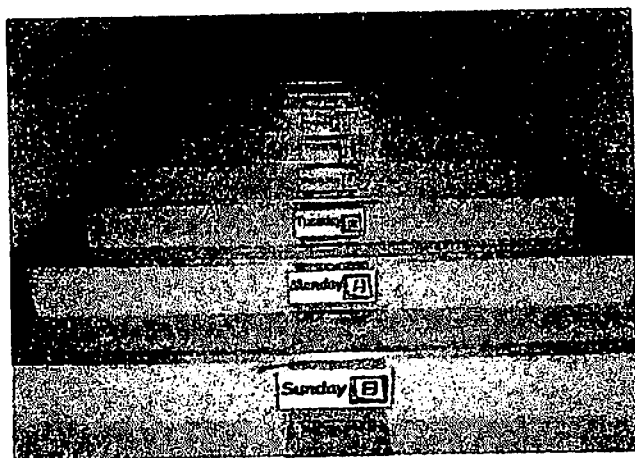
特別教室名を英語で表記している。初めは、かたかなで読み方を加えていたが、正しい発音が損なわれるのではないかと懸念から、英語表記のみに作り直した。日々利用しながら、英語の綴りに慣れていけるようにしたい。



(保健室の廊下掲示)

保健室の廊下掲示は、養護教諭とともに保健委員会が作成しているが、保健目標などを書く際に、英語での表現を添えている。

その他、図書委員会、児童学校運営委員会などの作成している掲示物にも、英語の表記を取り入れている。

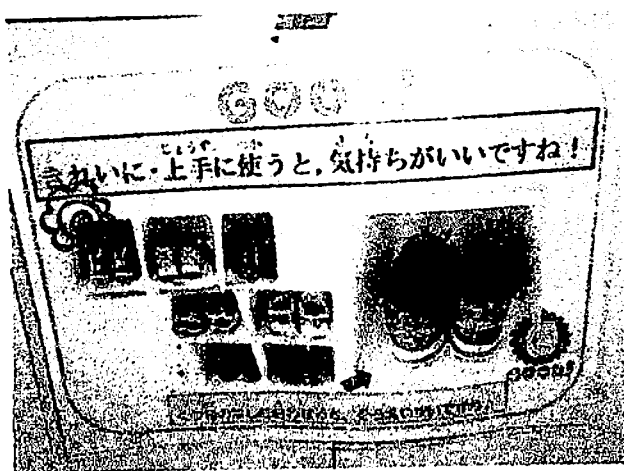


(階段の掲示)

廊下にアルファベットの大文字と小文字をペアにして掲示している。毎日見ることで、文字の形に慣れていくことをねらっている。



(アルファベットの掲示)



(靴箱の使い方)

靴箱の使い方を指導する掲示物に、英単語を書き加えている。GOOD はクラスルームイングリッシュでも頻繁に使っている言葉である。いろいろな場面で活用しながら、綴りにも慣れさせたい。

【あいさつ】

- ・おはようございます。
- ・こんにちは。
- ・みなさん、こんにちは。
- ・元気ですか。今日の調子はどうですか。
- ・今日は何曜日ですか。
－金曜日です。
- ・今日の天気はどうですか。
－晴れています。
- ・今日はこれで終わりです。
- ・また次回会いましょう。
- ・さようなら。
- ・また [月曜日に／来週]会いましょう。

【授業の開始】

- ・立ちなさい。
- ・座りなさい。
- ・準備はいいですか。
- ・始めましょう。

【ほめる】

- ・正解です。
- ・よくできました。
- ・いいアイデアですね。
- ・すばらしい。いいね。
- ・(どうも) ありがとう。

【励ます】

- ・よくがんばったね。
- ・がんばって。
- ・それでいいよ。
- ・落ち着いて。

Good morning.

Hello. / Good afternoon.

Hello, everyone.

How are you? How are you today?

What day is it today?

－ It's Friday.

How's the weather today?

－ It's sunny.

That's all for today.

See you next time.

Good-bye. / See you.

See you [on Monday / next week].

Stand up.

Sit down.

Are you ready?

Let's begin.

That's right!

Good! / Great! / Good job!

Good idea!

Wonderful! / Excellent! / Marvelous!

Fantastic! / Super! / Perfect!

Thank you (very much). / Thanks (a lot).

Nice try! / Good try!

Good luck! / Do your best.

That's good!

Take it easy. / Relax.

【ゲームや活動の開始】

- ・ゲームをしましょう。
- ・歌を歌いましょう。
- ・机をきれいにしなさい。

【ゲームや活動】

- ・並びなさい。
- ・2列になりなさい。
- ・やりたい人はいますか。
- ・答えがわかった人はいますか。
- ・質問はありますか。
- ・他に質問はありますか。
- ・カードを持ってきたさい。

【基本表現】

- ・テキストの6ページを開きなさい。
- ・ワークシートに名前を書きなさい。
- ・線を引きなさい。
- ・CDを聞きなさい。
- ・私の後について繰り返しなさい。
- ・はい、どうぞ。
- ・手を挙げなさい。
- ・こちらに来なさい。
- ・静かにしなさい。
- ・目を閉じなさい。
- ・テキストを閉じなさい。
- ・練習しましょう。
- ・「おなかが痛い」は英語で何と言いますか。

Let's play a game.

Let's sing a song.

Clear your desks.

Line up.

Make two lines.

Any volunteers?

Who knows the answer?

Do you have any questions?

Any other questions?

Bring me a card.

Open your textbook to page six.

Write your name on the worksheet.

Draw a line.

Listen to the CD.

Repeat after me.

Here you are.

Raise your hands.

Come here.

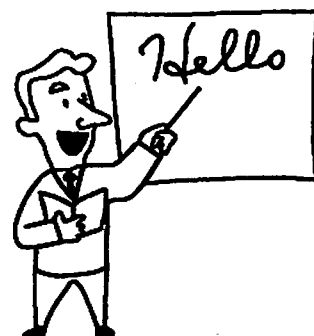
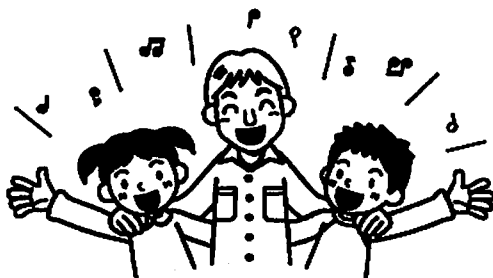
Be quiet.

Close your eyes.

Close your textbook.

Let's practice.

How do you say *onaka ga itai* in English?



外国語活動 年間指導計画

1年		2年		3年		4年	
英語活動		英語活動		外国語活動		外国語活動	
単元名	時数	単元名	時数	単元名	時数	単元名	時数
1 あいさつをしよう What's your name.		1 オリエンテーション 1 あいさつをしよう・じゃんけん 1 自分の気分をつたえよう 2 1から10まで数えよう		4 あいさつ・天気・気持ち・動作をおぼえよう ・How are you? ・happy, fine, sleepy ・sit down, stand up 2 曜日をおぼえよう ・Mondayなど 4 自己紹介をしよう ・What's your name? ・My name is ~? 4 国の名前をおぼえよう ・ITALYなど Where are you from?		3 自己紹介をしよう ・What's your name? 3 数を答えよう ・How many ~? 3 好きなものを答えよう ・I like ~ 4 できるものを答えよう ・What can you do?	
	1		5		14		13
1 What's your name. 1から7までのかぞえよう		1 7月までのまとめ 1 数字であそぼう 1 これは何色? 2 色であそぼう		2 数で遊ぼう ・1~20までの数え方 ・How many ~? 2 好きな色をえらぼう ・What color do you like? ・色の単語 2 好きな動物をえらぼう ・What animal do you like? ・動物の単語 2 好きな食べ物をえらぼう ・What food do you like? 4 宝物をしょうかいしよう Do you like? Guess who game? 2 クリスマス		4 できるものを答えよう ・What can you do? 7 アルファベット(大文字)を習おう 2 クリスマス ・What do you want for Christmas?	
	1		5		14		13
1 あいさつをしよう What's your name. 1から10までのかぞえよう		1 クリスマスツリーを作ろう 2 体の名前を知ろう 1 わたしの好きな〇〇		5 ~している の言い方を覚えよう。 ・~ingの単語を覚える。 ・What are you doing?の言い方に慣れよう。 2 まとめ		5 文房具や教室にあるものの名前を 知ろう eraser, deskなど 3 数で遊ぼう ・20~29までの数え方 1 まとめ	
	1		4		7		9
3		14		35		35	

5年

外国語活動				
時数	単元名	回数	回数	回数
2	Hello!	1 数字1～30 1 数字1～30	1 数字1～30 1 数字1～30	1 数字1～30 1 数字1～30
2	I'm happy.	1 数字1～30 1 数字1～30	1 数字1～30 1 数字1～30	1 数字1～30 1 数字1～30
4	How many?	1 単語(複数形) 1 単語(複数形) 1 単語(複数形) 1 単語(複数形)	1 単語(複数形) 1 単語(複数形) 1 単語(複数形) 1 単語(複数形)	1 単語(複数形) 1 単語(複数形) 1 単語(複数形) 1 単語(複数形)
5	I like apples.	1 自己紹介 1 自己紹介 1 自己紹介 1 自己紹介 1 Do you like soccer?	1 自己紹介 1 自己紹介 1 自己紹介 1 自己紹介 1 Do you like soccer?	1 自己紹介 1 自己紹介 1 自己紹介 1 自己紹介 1 Do you like soccer?
26				
4	What do you like?	1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物	1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物	1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物 1 色, 形, 動物
5	What do you want?	1 アルファベット(小文字) 1 アルファベット(小文字) 1 How much 1 How much 1 What do you want?	1 アルファベット(小文字) 1 アルファベット(小文字) 1 How much 1 How much 1 What do you want?	1 アルファベット(小文字) 1 アルファベット(小文字) 1 How much 1 How much 1 What do you want?
4	What's this?	1 物の名前 1 物の名前 1 アルファベット発音 1 アルファベット発音	1 物の名前 1 物の名前 1 アルファベット発音 1 アルファベット発音	1 物の名前 1 物の名前 1 アルファベット発音 1 アルファベット発音
26				
5	I study Japanese.	1 教科 1 教科 1 教科 1 教科 1 自己紹介(教科)	1 教科 1 教科 1 教科 1 教科 1 自己紹介(教科)	1 教科 1 教科 1 教科 1 教科 1 自己紹介(教科)
4	What would you like?	1 果物, 料理 1 果物, 料理 1 果物, 料理 1 果物, 料理	1 果物, 料理 1 果物, 料理 1 果物, 料理 1 果物, 料理	1 果物, 料理 1 果物, 料理 1 果物, 料理 1 果物, 料理
18				
70				

外国語活動 年間指導計画

6年

外国語活動					
時数	単元名	回数	回数	回数	回数
4	アルファベットのクイズを作ろう Do you have "a"?	1 A～Cの文字指導(大文字・小文字) 1 A～Oの文字指導(大文字・小文字)	1 D～Fの文字指導(大文字・小文字) 1 D～Fの文字指導(大文字・小文字)	1 G～Iの文字指導(大文字・小文字) 1 Q～Uの文字指導(大文字・小文字)	1 Q～Uの文字指導(大文字・小文字) 1 P～Rの文字指導(大文字・小文字)
1	友だちを旅行にさそおう Let's go to Italy. (べちゃんこスタンレー)	1 J～Lの文字指導(大文字・小文字) 1 J～Lの文字指導(大文字・小文字) 1 S～Uの文字指導(大文字・小文字) 1 S～Uの文字指導(大文字・小文字)	1 M～Oの文字指導(大文字・小文字) 1 M～Oの文字指導(大文字・小文字) 1 V～Xの文字指導(大文字・小文字) 1 V～Xの文字指導(大文字・小文字)	1 P～Rの文字指導(大文字・小文字) 1 Y、Zの文字指導(大文字・小文字) 1 Y、Zの文字指導(大文字・小文字)	1 Y、Zの文字指導(大文字・小文字)
4	友達の誕生日を調べよう When is your birthday?	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 序数 1 序数	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 序数 1 序数	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 序数 1 序数	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 序数 1 序数
4	できることを紹介しよう I can swim.	1 I can ～ . I can't ～. 1 動詞 1 動詞	1 I can ～ . I can't ～. 1 動詞 1 動詞	1 I can ～ . I can't ～. 1 動詞 1 動詞	1 I can ～ . I can't ～. 1 動詞 1 動詞
25					
4	道案内をしよう Turn right.	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 教室名 1 施設名 1 go up go down 1 案内 1 動詞 1 動詞 1 動詞 1 国・国旗 1 色 1 形 1 the Frag Quiz 1 I want to ～. 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 教室名 1 施設名 1 go up go down 1 案内 1 動詞 1 動詞 1 動詞 1 国・国旗 1 色 1 形 1 the Frag Quiz 1 I want to ～. 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 教室名 1 施設名 1 go up go down 1 案内 1 動詞 1 動詞 1 動詞 1 国・国旗 1 色 1 形 1 the Frag Quiz 1 I want to ～. 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 教室名 1 施設名 1 go up go down 1 案内 1 動詞 1 動詞 1 動詞 1 国・国旗 1 色 1 形 1 the Frag Quiz 1 I want to ～. 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習
3	一日の生活を紹介します What time do you get up?	1 動詞	1 動詞	1 動詞	1 動詞
1	ハロウィーン	1 国・国旗	1 国・国旗	1 国・国旗	1 国・国旗
4	友だちを旅行にさそおう Let's go to Italy. (スタンレーが紹介するスピーチ)	1 色 1 形 1 the Frag Quiz 1 I want to ～. 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習	1 色 1 形 1 the Frag Quiz 1 I want to ～. 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習	1 色 1 形 1 the Frag Quiz 1 I want to ～. 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習	1 色 1 形 1 the Frag Quiz 1 I want to ～. 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習 1 スタンレーが紹介するスピーチの練習
1	クリスマス	1 動詞	1 動詞	1 動詞	1 動詞
28					
5	オリジナルの物語をつくろう We are good friends.	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 オリジナル劇の練習 1 オリジナル劇の練習 1 オリジナル劇の練習 1 he she they we の使い方 1 I want to ～. 1 自分の夢の自己紹介練習 1 自分の夢の自己紹介練習	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 オリジナル劇の練習 1 オリジナル劇の練習 1 オリジナル劇の練習 1 he she they we の使い方 1 I want to ～. 1 自分の夢の自己紹介練習 1 自分の夢の自己紹介練習	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 オリジナル劇の練習 1 オリジナル劇の練習 1 オリジナル劇の練習 1 he she they we の使い方 1 I want to ～. 1 自分の夢の自己紹介練習 1 自分の夢の自己紹介練習	1 A～Zまでの文字(大文字・小文字)テスト・名前 1 オリジナル劇の練習 1 オリジナル劇の練習 1 オリジナル劇の練習 1 he she they we の使い方 1 I want to ～. 1 自分の夢の自己紹介練習 1 自分の夢の自己紹介練習
4	「夢宣言」を紹介します What do you want to be?	1 動詞	1 動詞	1 動詞	1 動詞
17					
70					

コミュニケーション能力を育成するための効果的な指導の工夫 ～4技能を統合的に身につけさせるためには～

1. 設定理由

本校生徒の実態として、「話すこと」「書くこと」が苦手であり、これを克服したいと考えている生徒が多い。そこで「話すこと」に焦点を当てながら、他の3技能を統合したコミュニケーション活動を充実させる必要があると考えた。「外国語で伝え合う対話的な言語活動を重視した授業」「簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を養う授業」をめざし、生徒が習得した知識や経験を生かし、外国語で情報や考えなどを適切に伝え合うことができる力を育成したいと考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

仮説① ALT との T・T を活用して、英語を聞く機会、話す機会を増やせば、英語に慣れ親しみ自信もつき、意欲的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されるであろう。

仮説② 自己表現活動を多く設定し、具体的な場面や状況にあった適切な表現を自ら考え、発表したり、伝え合ったりする機会を増やせば、コミュニケーション能力の向上が図れるであろう。

3. 研究内容

①ALT とのティームティーチングにおいて、(話すこと・聞くこと・書くこと)を含む Activity を用いた新文法の導入。

②帯活動としての Q&A を通して、即興的な interaction 力を向上させる。

(Speech の指導、校外学習・修学旅行を利用した Interview～Presentation、Speaking Test)

4. 結論

○Q&A を取り入れたことや ALT とのティームティーチングで、生徒はネイティブスピーカーの英語をたくさん聞き、そのことで英語を聞く力がつき、外国の方に話しかけられても緊張せずに話せるようになった。

○Interview や Presentation の機会を増やしたことで、自分の思いや気持ちを習ったことを使って、相手に伝えることができるようになった。また回を重ねるごとに、生徒の表現力が広がった。

Speaking Test において、発話語数が増え、ALT と自然なやりとりができるようになった。

印旛支部

成田市立吾妻中学校

佐々木 寛子

澤田 百合子

1 研究主題

『コミュニケーション能力を育成するための効果的な指導の工夫』

～4技能を統合的に身につけさせるには～

2 生徒の実態

本校は成田ニュータウンの南側に位置し、今年度創立40周年を迎える。昔からの吾妻地区と橋賀台地区に加え、新興住宅地のはなのき台地区が加わり、吾妻小学校の児童数増加に伴い、近年本校も学級増となっている。

今年度は1・2年生4クラス、3年生3クラス、特別支援学級2クラスがあり全校生徒328人の中規模校である。学区内には吾妻小学校と橋賀台小学校があり、現在2つの小学校と連携項目を定め、9年間の学びの連続性を目指し、学力向上に取り組んでいる。具体的には、学習面と生活面について小中の全職員が共通した指導を行い、中1ギャップを極力無くすための1つの手立てとなっている。また、年に1回3校の持ち回りで授業研修会を開き、相互授業参観及び研究協議を行うことで、情報交換や異校種研修の場となっている。英語科についてはまだ小学校で授業展開されることが少ないので、今後は積極的に行っていただき、研修を深めたいと考えている。

成田市では全小中学校にALTが配置されており、本校においても2名のALTがおり、恵まれた環境の中、英語の授業が行われている。週2～3時間、ALTとのティームティーチングを行うことができ、よりコミュニケーション型の授業を意識的に組むことで、授業中の生徒の発話量が増えてきている。成田市独自のカリキュラム * 1 (拡充英語)により、本校の場合隔週で週5時間英語の授業が実施されている。拡充英語の指導案と教科書のMy Project (Project)を上手く関連づけて文法事項のまとめや、コミュニケーション活動を実施する時間としている。

落ち着いた生活態度の生徒が多く、部活動や生徒会活動に意欲的に取り組んでいる。体育祭や合唱コンクールではリーダーを中心に自分たちで行事を成功させようと団結して取り組む姿が見られ、年々より良いものになってきている。

また、英語科としては昨年度印旛郡市英語発表会(Bブロック)で学校賞第1位、成田空港スピーチコンテストでも学校賞第1位を獲得した。コンテストのオーディションにも多くの生徒が参加し、代表となった生徒達がALTの協力を得て練習に励んだ成果である。

生徒は小学校6年間で外国語に慣れ親しんだ積み重ねがあり、英語学習に対する興味関心が高い。特に英語を「聞く力」が高く、教員の発するClassroom Englishを多くの生徒が理解して活動ができている。

平成27年度から3年間、文部科学省より『英語教育強化地域拠点事業』『外部専門機関と連携した英語指導力向上事業』の研修協力校として指定を受け、研修及び授業展開を行ってきた。また、指定を受けていることで実用英語検定の検定料の助成を受け、他団体よりも安価で受検できることもあり、ここ3年間は受検者数が増えると同時に英検取得率も少しずつ向上してきている。

* 1 拡充英語 … 成田市は文部科学省より、教育課程特例校の認可を受け、中学校1年生は年間15時間、中学校2、3年生は年間18時間、標準授業時数より拡充して英語の授業を行っている。なお、この授業は市独自の指導案に基づき、コミュニケーション活動に特化したTBLT (Task Based Language Teaching) の授業を展開している。TBLTの意義は「発話の正確さよりも発話されること自体に重点が置かれる」ということである。

中学３年卒業時、英検３級以上取得者数及び取得率の推移

	生徒数	３級以上取得者数	取得率
平成２７年度 ３年生	５６人	１７人	３０．４％
平成２８年度 ３年生	８７人	３３人	３７．５％
平成２９年度 ３年生（７月現在）	８１人	２３人	２８．４％

※平成２９年７月現在、英検３級以上取得者２３人中、準２級６人、２級１人

本校の学校教育目標は『「次代をひらき、心豊かにたくましく、生きる力を身に付けた生徒の育成」～知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成～』である。具体的な方策の１つとして、「国際性や実践的なコミュニケーション能力の基礎を身につけた生徒を育てるために、成田市独自の教育課程を採用し、英語授業の充実を図る。」としている。これを受けて、英語科では教科書の内容に成田市独自の拡充英語の授業プランを組み込んで授業を進めている。日々の授業においては教員の英語使用率を上げることを意識し、また生徒が授業中に発する英語量を増やすことに努めている。具体的にはペア・ワークやグループ・ワーク、プレゼンテーションの機会を増やし、得た情報を自分たちの言葉で他の人たちへ伝える活動、さらに学年を超えて発表する機会も作っている。

英語学習については、全学年とも意欲的に授業にとりくんでいる。ALTとのチームティーチングではゲーム的な活動というよりは、Speakingを中心とした英語によるコミュニケーション活動を行っており、ALTとの授業を楽しみにしている生徒が多い。

以下は成田市が行った「市学力状況調査」の結果であり、成田市と全国の平均正答率を比較したものである。

成田市学力状況調査の結果

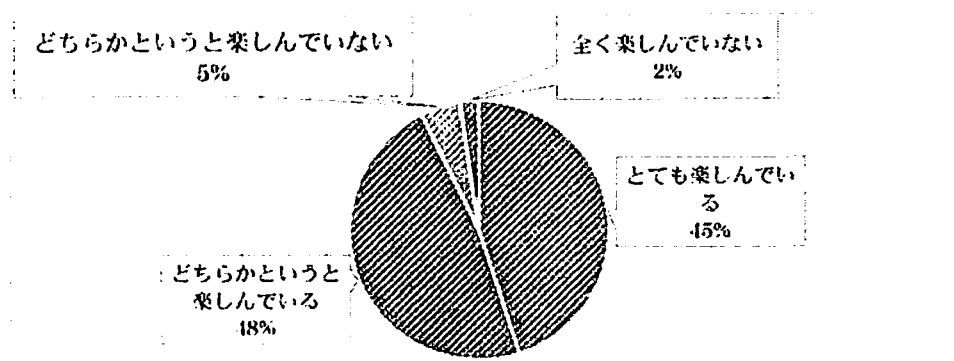
平成２８年度 １年生	成田市平均正答率（％）	全国平均正答率（％）	平均正答率の比較
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	７２．７％	７０．０％	＋２．７
聞くこと	８１．３％	７８．２％	＋３．１
読むこと	６５．５％	５８．５％	＋７．０
書くこと	５７．１％	５２．８％	＋４．３

平成２８年度 ２年生	成田市平均正答率（％）	全国平均正答率（％）	平均正答率の比較
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	６４．２％	５８．１％	＋６．１
聞くこと	７５．６％	７１．０％	＋４．６
読むこと	５５．８％	５０．８％	＋５．０
書くこと	４８．０％	４１．９％	＋６．１

本校生徒の実態は、学年により差はあるものの、コミュニケーションへの関心・意欲・態度をはじめ、各領域において成田市平均を更に上回っている。

次は、成田市が年1回行っている「英語の授業についてのアンケート」及び本校独自のアンケートの結果である。

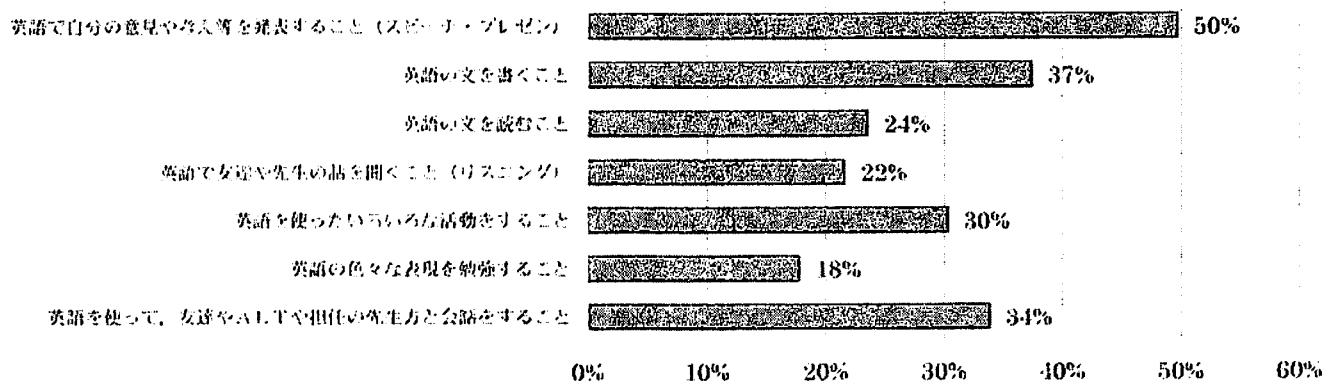
質問1. あなたは英語の授業を楽しんでいますか。



「とても楽しんでいる」「どちらかというと楽しんでいる」に、合わせて93%の生徒が回答している。

質問2. 授業の中で、どのような活動が苦手ですか。(複数回答可)

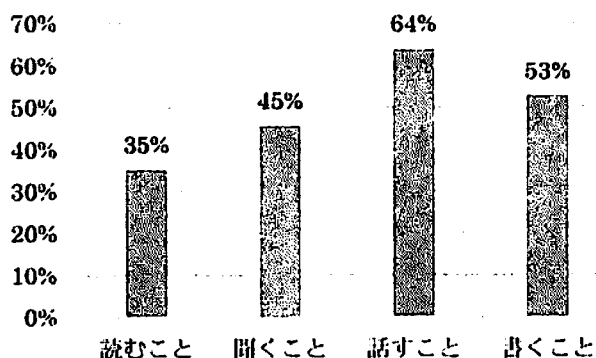
英語の授業の中でどのような活動が苦手ですか



質問3. 4技能の中で苦手な活動

※ 苦手な活動を順位付けし、1位と2位の合計値

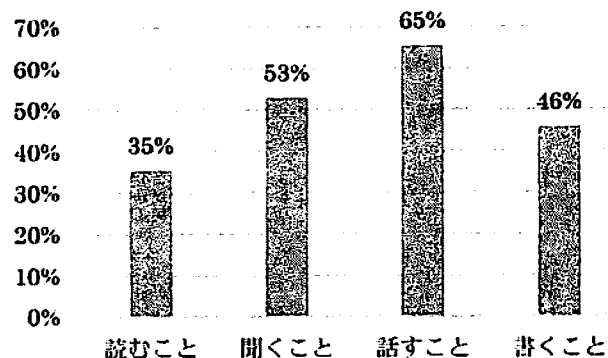
4技能の中で苦手な活動



質問4. 4技能の中で伸ばしたい力

※ 伸ばしたい力を順位付けし、1位と2位の合計値

4技能の中で伸ばしたい力



質問1より、結果から93%の生徒が英語の授業を楽しんでいることがわかる。

質問2より、授業の中で一番苦手な活動は、「英語で自分の意見や考え等を発表すること（スピーチ、プレゼン）」、続いて「英語の文を書くこと」「英語を使って友達やALTや担任の先生方と会話すること」と続いている。

質問3より、4技能の中で64%の生徒が苦手な活動として「話すこと」を挙げている。また伸ばしたい力として挙げているのも「話すこと」である。

3 主題設定の理由

本校英語科の研究主題は『「コミュニケーション能力を育成するための効果的な指導の工夫」～4技能を統合的に身につけさせるためには～』である。

現行学習指導要領における外国語の目標は、「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。」である。

新学習指導要領では、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することをめざす。」と改訂される。これまで「4技能」と称されていたものが、国際的な基準（CEFR）を参考にして、「書くこと」「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり：interaction）」「話すこと（発表：production）」と、「5つの領域」の言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成することとしている。

本校生徒の実態として、「英語の授業を楽しんでいる」と答えた生徒の割合が高い。一方、「話すこと」（スピーチ、プレゼン）や「書くこと」を苦手と感じている生徒の割合が高い。そして生徒達は、今後伸ばしたい力について「話すこと」を1番に挙げている。「話すこと」に焦点を当てながら、他の3技能を統合したコミュニケーション活動を充実させる必要があると言える。

本校英語科では平成33年度の新学習指導要領完全実施を前に、文法・語彙等の知識がどれだけ身についたかという点に重点が置かれたこれまでの授業を見直し、外国語によるコミュニケーション能力の育成を意識したとりくみ、特に言語活動の充実を図ろうと考えた。「外国語で伝え合う対話的な言語活動を重視した授業」「簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を養う授業」をめざし、生徒が習得した知識や経験を生かし、外国語で情報や考えなどを適切に伝え合うことができる能力を伸ばしていく必要があると考え、本主題を設定した。

4 研究仮説

(1) 研究仮説①

① ALTとのT-Tを活用して、英語を聞く機会、話す機会を増やせば、英語に慣れ親しみ自信もつき、意欲的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されるであろう。

(2) 研究仮説②

② 自己表現活動を多く設定し、具体的な場面や状況に合った適切な表現を自ら考え、発表したり、伝え合ったりする機会を増やせば、コミュニケーション能力の向上が図れるであろう。

5 研究の内容

(1) 研究仮説①について

ALT とのティームティーチングでは、英語で英語を教える授業を展開し、補足が必要な場合のみ、個別対応で日本語での解釈を行っている。Activity の説明なども簡単な英語を使い、話すスピードの工夫や繰り返し伝えることで生徒達は理解しようと努力している。Speaking 活動においても、ALT と JTE の対話をモデルとして、自分たちの活動につなげられるよう指導している。

ア 新文法導入のための Activity【話すこと・聞くこと・書くこと】（資料①～③）

1 年生 Lesson 3-4 「What + 名詞」 (ONE WORLD 1)

2 年生 Lesson 3-2 「接続詞 when」 (ONE WORLD 2)

3 年生 Program 3-3 「ask + 人 + 不定詞」 (SUNSHINE 3)

イ 生徒が言いよんだり、語法の間違いをしたりする場面において、さりげなく recast（再構築）する。

ウ 生徒の自主的な発言を称賛する。

(2) 研究仮説②について

ア 帯活動としての Activity【話すこと・聞くこと・書くこと】（資料④）

(7) 1 年生：授業冒頭に 5 分間時間を計って行う。ALT が既習文法事項を使って口頭で質問をする。Yes / No Question に対する答えは、“Do you like cats? — Yes, I do. I like cats.” のように答えさせる。

(i) 2・3 年生

・ Q&A：授業開始から 10 分程度を使って行う。ALT が毎回その場で質問を提示する。それを受けて英作文をし、ペアで会話を始める。(Reaction & Follow-up Questions)
一通りできたら、ペアを変え、ALT や JTE に聞いてもらう。

例 A: What do you do on Sundays?

B: I play baseball on Sundays.

A: Oh! Do you like baseball? ここから先は即興の Q & A

B: Yes. I like baseball.

A: Who is your favorite player?

B: I like Otani Shohei.

A: Oh! I like him, too. 以下、もう一方が自分の質問をし、会話を続ける。

3 年生は 7 月から、更に会話から得たパートナーの情報をまとめ、他へ伝える活動として、writing を加えた。

イ Speech の指導【書くこと・話すこと】

- (7) 1 年生 「自己紹介／他己紹介」 (Project1、2 ONE WORLD 1)
- (4) 2 年生 「こんな人になりたい」 (My Project 5 SUNSHINE 2) (資料⑤)
PP を用いたプレゼンテーション
- (6) 3 年生 「卒業に向けて」 (Special Project SUNSHINE 3)

ウ 校外学習・修学旅行を利用した Interview ～ Presentation

【話すこと・聞くこと・書くこと】

(7) 2・3 年生

鎌倉・京都での外国人旅行者へ英語でインタビューを行う。

(昨年度 2 年生・3 年生 今年度 3 年生)

インタビューの内容をメモに残し、後日ポスターを作成しプレゼンテーションを実施。

(クラス内・下級生へ) (資料⑥)

(4) 今年度は 2 年生校外学習 (TDL でのキャリア講習) (資料⑦)

プレゼンテーションのあと、英語での Q&A を行い、話すこと (production、interaction) を実践した。

(6) 応用編として

ゲストティーチャーへのインタビュー

初めて会う方の情報をできるだけ得るため、相手の答えを聞いて Follow-up Questions をしながら会話を進めていく。即興で次の質問を加えることにチャレンジさせた活動。

エ Speaking Test【話すこと】

年 1～2 回実施 (3 学年ともほぼ同じ形で実施)

- ・ ALT と生徒が 1 対 1 で行う。
- ・ 生徒から 1 つ質問を行い、その後は関連のある話題で話を続けていく。
- ・ 1 人あたり 5～7 分程度

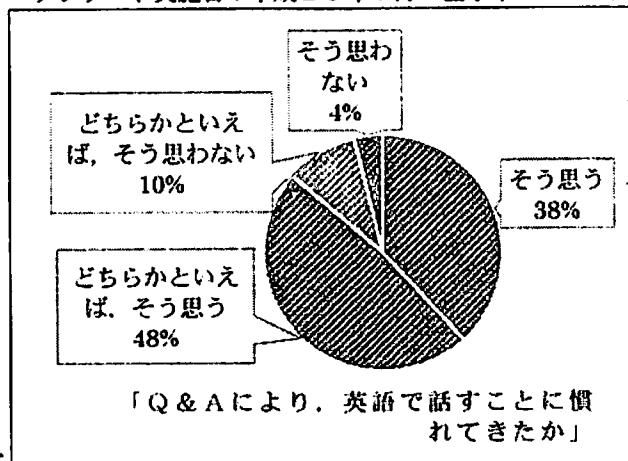
6 研究の成果と今後の課題

(1) 研究仮説①

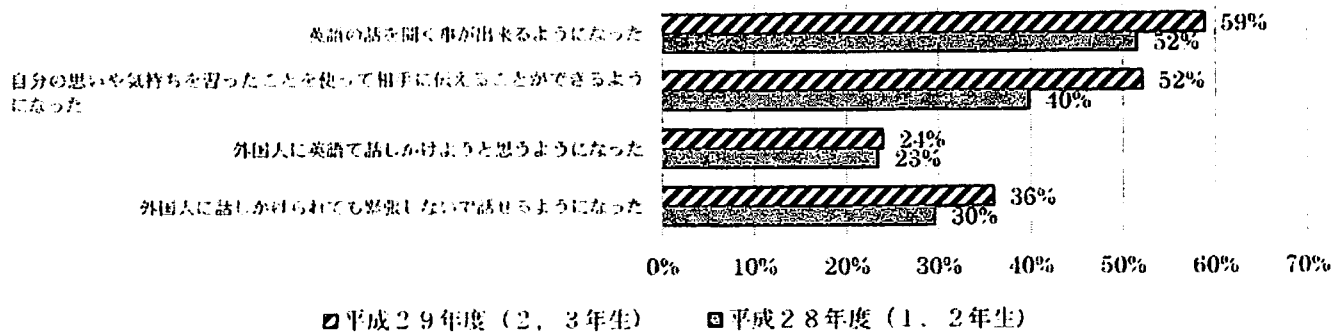
ア 成果

Speaking Activity に関するアンケートの結果にもあるように、86%の生徒が「Q&A」を取り入れたことで、「英語を話すことに慣れてきた」と回答している。これは ALT とのチームティーチングを可能な限り多く組むことで、生徒はネイティブスピーカーの英語をたくさん聞くことができている。そのような環境を作ったことで、英語を聞く力が身に付き、外国の人に話かけられても緊張しないで話せることにつながった。

アンケート実施日：平成 29 年 7 月 全学年 310 人



英語の授業を通してどんなところが変わってきましたか



イ課題

アンケートの結果より、「外国人に英語で話しかけようと思うようになった」の項目が昨年度と1%しか変わっていない。つまり、慣れてきてはいるものの、間違いを恐れて積極的に話しかけられるようにはまだなっていないようである。生徒に更に経験を積ませ、自信を持たせる必要があると考える。

（2）研究仮説②

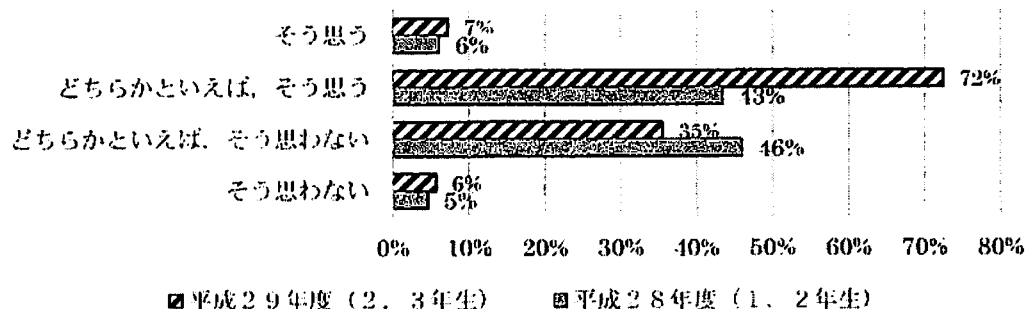
ア成果

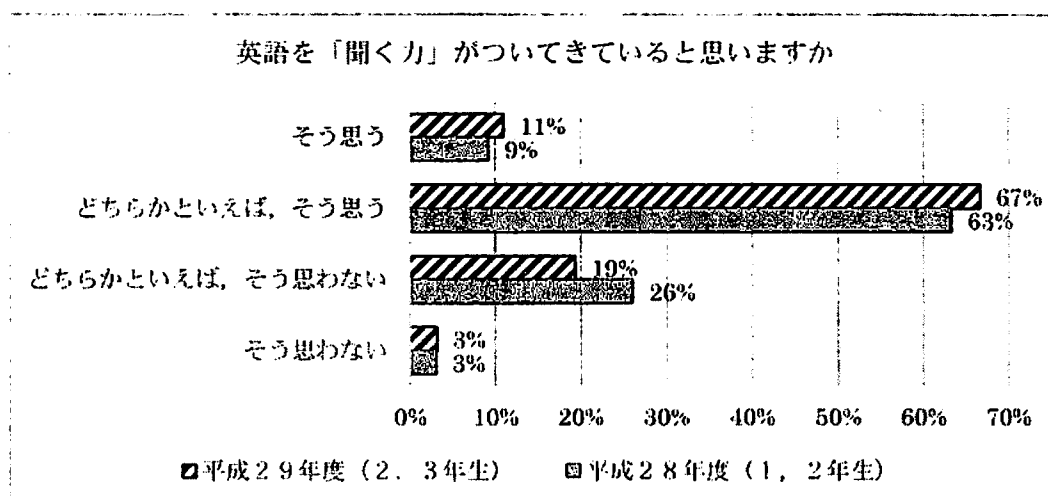
アンケートの結果より「英語の授業を通してどんなところが変わってきたか」にも表れているように、「自分の思いや気持ちを習ったことを使って相手に伝えることができるようになった。」と回答している生徒が12%増えている。これは自己表現活動を多く取り入れ、その場に合った適切な表現を自ら考え、使用する機会を増やした結果であろう。これについては大きな成果である。

また、約80%の生徒が英語を「話す力」「聞く力」がついてきていると感じている。少しずつではあるが英語を「話すこと」「聞くこと」に自信をつけてきた生徒が増えてきている。

インタビューやプレゼンテーション活動を取り入れたことで、回を重ねるごとに生徒の表現力が広がった。学年を超えた発表については、3年生は自信をつけ、2年生は3年生以上の発表をしたいと、意欲が高まったということが生徒の感想からわかった。研究内容としては、仮説②だが結果として仮説①の成果にもつながった。

英語を「話す力」がついてきていると思いますか





イ 課題

- ・プレゼンテーション後のやりとり (interaction) については課題が多く、普段の授業の中で生徒同士のやりとり (interaction) を積極的に取り入れていく必要がある。
- ・4技能を統合的に身につけさせるという観点から、「読むこと」「英語を読んで理解する力」に関する実践的な活動が少ないので、教材研究を進める必要がある。

(3) 生徒の感想 (Q&Aに関するアンケート)

ア 1年生

- ・前より頭の中で単語が出てきて、話しやすくなった。もっとスラスラ言えるようになりたい。
- ・小学校より英語で話すことが多くなり、Q&Aを行い、だいたいの英文などが読めるようになった。
- ・Q&Aをしてから自分の自己表現の能力が高まっていると思う。
- ・Q&Aで、みんなの色々な好きなものや嫌いなものも聞けるから楽しい。もっと上手にスピーキング活動をできるようになって、たくさんの人と英語で話したい。

イ 2年生

- ・Q&Aをやってきて、自然と英語が使えるようになってきたと思う。去年は、英語でスムーズに話すのが緊張して上手くできなかったが、慣れてきてもう1問、もう1問というように会話を続けられた。もっと長く会話が続くようにしたい。
- ・分からなくても、知っている単語を使って話すことができるようになった。「英語を使う」姿勢が強くなった。
- ・話しかけられても、ちょっとだけ返せるようになった。Q&Aの時、もっとちゃんと書けるようになりたい。
- ・話すことが苦手だったが、今では苦手意識は少しあるが、習った言葉を使って文にして話すことができるようになったと思う。苦手意識をすべてなくせるように努力したい。

ウ 3年生

- ・以前よりも相手の話を聞いたあとのリアクションが自然に出しやすくなった。簡単な会話がしやすくなった。
- ・自分の思っていることが言葉として相手に伝えられるようになった。
- ・前に習った文法も会話の中で復習できていいと思う。
- ・相手の答えに対してそれに関連した質問を考えて話すのが、スムーズになった。

(4) まとめとして

アンケートより、多くの生徒が英語学習を楽しんでいることがわかった。ただ楽しむのではなく、英語学習を通して「もっと話せるようになりたい」や「外国の方々と話す機会を増やしたい」さらに「2020年、東京オリンピックの時に英語でコミュニケーションがとれるようにしたい」等のコメントがみられた。

この先グローバル社会を生きる生徒達が、英語を使って外国の方々とコミュニケーションがとれるように、今行っている活動が何かの役に立つことを期待する。今後も生徒の実態を把握しながら、さらに研究を継続していく。

【参考資料】

- ・成田市学力状況調査（平成28年度）
- ・成田市「英語についてのアンケート」（平成28年度）
- ・学習指導要領解説 外国語編

資料

What _____ do you like?

Write your answers to the questions.

1. character	
2.	
3.	
4.	
5	

Let's find a match! Ask your friends questions and find a match with your answers.

Question	Name
1.	
2.	
3.	
4.	
5.	

Make three new questions and answer them.

1.	
2.	
3.	

Name _____ Class _____ Number _____

Name (in English): _____ Class: 2 - ____ Number: ____

資料②

Please answer the questions with sentences.

Q1 What do you usually do when you are free?

A1 _____

**Q2 There are many festivals in the summer in Japan.
What do you usually eat when you go to a summer festival?**

A2 _____

Next, ask two classmates.

	Classmate 1 or Partner Name	Classmate 2 or Teacher Name
Q1		
Q2		

Write stories about your classmates.

Travis usually watches TV when he is free.

He usually eats yakitori when he goes to a summer festival.

I asked Peach to play basketball with me

Step 1: Draw 4 lines. Match a character and an action

I asked {     } to { play basketball. go to Disneyland. study English. eat dinner. go shopping } with me



A: I asked Peach to play basketball with me.

How about you?

B: I asked Peach to study English with me.

I asked _____	Action	Friend #1	Friend #2	Friend #3
1. Doraemon to				
2. Anpanman to				
3. Sazae to				
4. Kitty to				

Name _____ Class _____ Number _____

Step 2: Write about your friends.

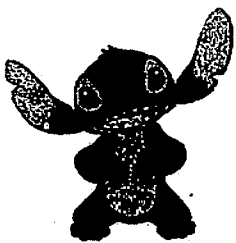
Example:

(Peach) Travis asked Peach to play basketball.

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____

Step 3: Make original sentences. Any character, actor, singer, teacher OK!

I asked _____ to _____.



Stitch



Ariel



Rilakuma



Snoopy



1. _____
2. _____
3. _____

Today is Wednesday. The date is April nine tenth.
The weather is sunny and cool today.

Today's Question

A: What do you do on Sundays?

B: I play basketball on Sundays.

Today is happy Friday. The date is April twenty-first.
The weather is cloudy and cool today.

Today's Question

A: What do you do in your free time?

B: I listen to music in my free time.

I like J-pop music.

Name _____ Class _____ Number _____

Today is Friday. Tomorrow will be Saturday.

The date is July seventh. The weather is sunny and hot today.

Tomorrow will be July eighth. The weather will be sunny and hot tomorrow.

Today's Question

A: What languages do you speak?

B: I speak Japanese.

Jun speaks Japanese.

Jun doesn't like Japanese,

because it is difficult.

Name _____ Class _____ Number _____

2年生「こんな人になりたい」

PPを用いたプレゼンテーション



2年生では、英文の原稿を作った後、生徒自身がパワーポイントを用いて、「こんな人になりたい」という発表を行いました。そして、発表後に、他の生徒からの質問に答えるというQ&Aを取り入れ、即興性を育成するようにしました。

2. No. Name: ()

He is called GOZIRA

Today, I want to talk about Matsutideki.
He is a baseball player.

Do you know him? he is a Super Star.
I want to be a baseball player like him in
the future.

I have two reasons.

First, he can play baseball very well.

He is called "GOZIRA" from ^{his} super power.

Second, He was very active boy.

Now He is Super Star around the world.

I respect him.

I want to try hard. like him

Thank you for listening.

指導計画（本時 6/7）と評価計画

学習過程	時配	主な学習内容	評価規準	評価方法
見出す	第1時	スピーチ原稿を作るにあたり、文章の構成を知るために、モデルの文を読む。	opening・body・ending の構成を理解している。	観察
	第2時	自分が話したい内容の構想を練る。 Program6 で書きためた英文や今までに学んだ表現から、スピーチで使えるものを確認する。	不定詞の意味や用法を正しく理解している。 opening・body・ending の構成を理解している。	観察
	第3時	スピーチ原稿を書く。教科書のスピーチでよく使う表現を参考に書く。 ペアで原稿を交換して意見を言い合う。 完成した原稿を ALT にチェックしてもらう。	I want to be～や I like to～などの不定詞を用い、文章構成を考えながら書いている。 お互いの意見を積極的に話そうとしている。 不定詞の用法を理解している。 opening・body・ending の構成を意識して書いている。	スピーチ原稿
慣れる	第4時	PC 室で、パワーポイントを使用し、スピーチに合わせた画像を作成する。	スピーチ原稿の内容にあった画像を作成しようとしている。	観察
	第5時	原稿を暗記し、英語らしい発音で発表できるように練習する。ペアで声の大きさ・ジェスチャーなどお互いにアドバイスしあう。 パワーポイントを使って発表練習をする。	ペアワークや自分の考えを表現する場面において、積極的に話そうとしている。	観察
まとめあげる	第6時 (本時)	聞き手にわかりやすく、英語らしい発音、適切な声量、ジェスチャーなどで発表する。聞き手からの質問に答える。	英語らしい発音で発表することができる。 つなぎ言葉を使うなどして話を続けている。	パフォーマンス Q&A 評価シート
	第7時	ビデオを見て、自分の発表がどうだったか客観的に捉え、今後の学習への糧とする。また、聞き手からの評価シートを読んで、次回への発表の励みとする。	自分の発表の良かった点・改善すべき点をしっかりと考えることができる。	反省シート

※発表が全員終わらない場合は、次回の授業へ持ち越す。

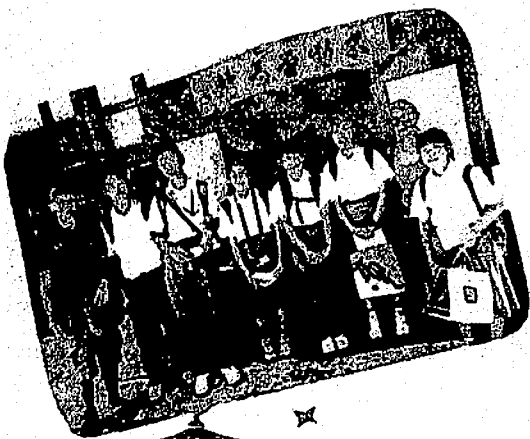
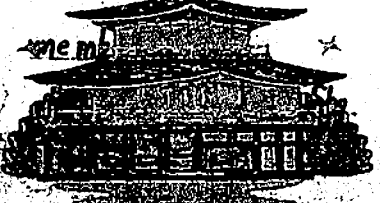
3年生 修学旅行 ポスター

Yes, No, Thankyou Good morning.




Q: What's your name?
A: I'm Jacauelyn. / I'm Kevin.
Q: Where are you from?
A: I'm from Texas.
Q: Why did you come to Japan?
A: We came to Japan for sightseeing.
Q: What Japanese food do you like?
A: I like Tonkatsu, Sushi, and Gyoza, Kobe
Q: What Japanese words do you like? ^{beer}
A: I know "Arigato" "Ohayo" "Hai" "Iie".
Q: What do you think about Japan?
A: I think Japan is a very clean place.

They are Angels

Q1. What's your name? Where are you from?
A. My name is Monika and Jack.
I'm from Italy.
Q2. What are your hobbies?
A. We hobby is visiting other countries.
Q3. What is your favorite Japanese food?
A. My favorite Japanese food are Okonomiyaki,
Tokoyaki and sushi.
Q4. What Japanese words do you like?
A. I like "Konnichiwa" and "Yorudaku"
Q5. Why did you come to Kyoto?
A. Sightseeing.
Q6. What are you going to visit next?
A. I'm going to visit Nara.

English Interview Presentation を終えて Class B

Best Presentation

Group 2 [9人]



Reason

- ・声が大きく、わかりやすかった。
- ・聞いていて飽きなかった。
- ・面白くて、笑顔で聞いていて楽しい。
- ・ジェスチャー付きで良かった。

インタビューから発表までの感想

- ・インタビューの時にミスがあったけど、上手くできたと思う。
- ・外国の方に話しかけるのは、すごく緊張する。
- ・文を覚えるのが大変だった。質問するのは緊張した。
- ・もっと外国の方と話をしてみたい。話せるように頑張る。
- ・去年よりは緊張せずに話すことができた。相手の方もノリが良くてあまり緊張せずに話せた。
- ・始まるまではとても緊張していたが、インタビューが始まると、とても楽しかった。機会があればまたインタビューしてみたい。
- ・質問を考えるのはとても大変だったが、楽しくできた。去年よりもレベルアップできて良かった。
- ・相手の方がこれまで学習してきた英語を使っていて、感動した。発表も緊張したが上手くできた。
- ・去年よりも上手に話せたが、相づちが少ししかできなかった。けれど、積極的に話しかけたし、スムーズにできたので良かった。
- ・去年よりも文法事項を多く勉強し、自分の言いたいことを伝えられた。発表も緊張したが、大きな声を出せたと思う。
- ・発表は緊張したけど、楽しめて良かった。
- ・練習の時よりも大きい声で発表できて、良かった。下を向かないようにしたい。
- ・インタビューでは、質問を2つすることができた。緊張したけど、良かった。
- ・一生懸命取り組めたと思う。インタビューの時、「英語が上手」と褒めてもらえて、すごくうれしかった。

2年生の感想

- ・内容がわかりやすく、理解もしやすかった。。
- ・ポスターが上手にまとめられていた。・聞き取りやすい声で発表していた。
- ・みんなジェスチャーなどして伝えてくれて、すごかった。
- ・長い文を何も見ないでスラスラと話している人がいて、本当にすごいなと思った。。
- ・楽しそうに発表している班があって、良かった。。
- ・自分達が発表するときは、先輩達以上に上手にできるように頑張りたい。
- ・この間、2年生がやったプレゼンテーションよりも難しい事をたくさん言っているの、すごいなと思った。
- ・わからなくても最後までしっかり質問に答えようとしていて、いいと思った。
- ・発音から質問に対する答えまで、全てクオリティーが高くて、自分たちとは格が違うなと思った。来年は3年生を超えられるような発表をしたい。

International News

ALL ABOUT THE BIG WORLD WE LIVE IN

InternationalNews.jp

May 12th, 2017

Panic! No potatoes, no chips!

The Japanese are big fans of snacks. They have so many choices from mochi and dorayaki to Kit Kat and senbei. Of course, Japan loves potato chips too. They have so many unique chip flavors like avocado-cheese, tandoori chicken and pizza.

Unfortunately, there is a major potato shortage at the moment. It's so bad. Two major snack makers stopped making chips because there are no potatoes in Hokkaido. No potatoes, no chips!

In August 2016, the island of Hokkaido had two very severe typhoons. The Hokkaido area grows 80% of the potatoes in Japan, but because of the bad weather potatoes did not grow.



Calbee is the top potato chip maker in Japan. They stopped making over 33 different flavors because there are no potatoes from Hokkaido.

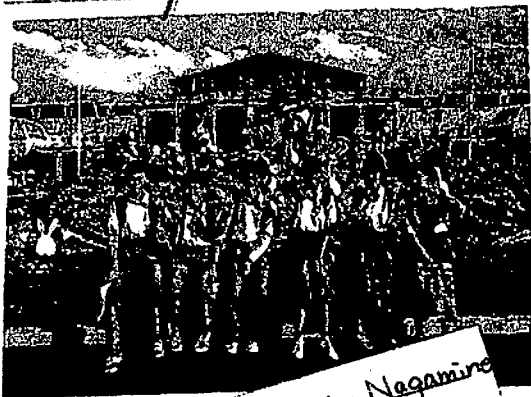
Stores are sold out of popular flavors. The price of chips went up online. Chip lovers are tweeting about their favorite chips on Twitter. They're mad about the expensive prices.

Notes / Memo box

snack, snacks
choices, so many choices
from ~ to ~
unique
flavors
like ~
unfortunately
island
severe
sold out
price
tweeting
mad
different

2年生 校外学習 英字新聞

Funny members with Mickey Mouse



The weather by Maha Nagamine
 We went to Tokyo Disneyland.
 It was sunny and cloudy.
 We lined up for an attraction.
 While we were waiting, it became sunny.

Story of cast by Kenta Korigishi
 We went to Hotel Okura the other day. We listened to the cast's lecture. She said a smile is the most important. I learned a good lesson the other day. I had a good time.

Wonderful things in TDL
 We went to Tokyo Disneyland. Tokyo Disneyland has many things. For example, cute things, cool things, interesting things. TDL has many kinds of key rings, snack foods, clothes, sunglasses, girl's head bands. We had a wonderful time there.
 by Noriko Uchiyoshima

Why did you go to Disneyland?
 We went to Tokyo Disneyland because we studied the hospitality industry of the workers and we went to enjoy Disneyland.

We listened to the story of the cast at Hotel Okura. We have learned a lot. We had a nice time!
 by Ryoji Nishida

Attractions by Kaho Sasaki
 We rode STAR TOURS and cartoon spin.

Haunted Mansion.
 They were very interesting. We especially enjoyed STAR TOURS. This day was very very exciting!

Story of cast by Minami Sunayama
 We went to Tokyo Disneyland. We heard a lecture. I learned some hospitality. I learned how to smile and make eye contact. It was very useful.

	第1学年	第2学年	第3学年
話すこと（やりとり）	身近な人やもの、事柄について簡単な英文で伝え合うことができる。	身近な生活の場面で、基礎的な語や言い回しを用いて、やりとりすることができる。	身近な生活の場面で、場面や状況に応じた言い回しを用いて、やりとりすることができる。
話すこと（発表）	身近な物や人について、写真や絵などを用いて紹介することができる。	身近で個人的なことにすることについて、聞き手を意識した表現や言い回しを用いて、発表することができる。	身近なことや自分のことについて、原稿などを準備すれば、スピーチすることができる。
書くこと	自分の身近な人物や事柄の基本的な情報についてまとまりのある短い文章を書くことができる。	日常的内容や個人的な経験について、基本的な表現を用い、簡潔な英文で書くことができる。	日常的内容や読んだりした内容について、構成を意識し、なじみのある文を書くことができる。
聞くこと	身近な話題について、ゆっくり話されれば、何を表すか理解できる。	社会的な話題について、なじみのある英語でゆっくり話されれば、概要や要点を理解することができる。	いろいろな場面の話される内容について、ゆっくり、繰り返し話されれば、要旨を聞き取ることができる。
読むこと	短めの物語の内容について、簡単な英語で書かれていれば、内容をだいたい理解できる。	少し長めの英文を読んで、なじみのある語や構成であれば、内容を大まかに読み取ることができる。	少し長めの物語文を、挿絵などを参考にすれば、概要を理解することができる。

Class: _____ No: _____ Name: _____

What do you enjoy doing in your free time?

What do you enjoy doing in your free time?

I. enjoy (watching TV / playing videogames / reading books / listening to music/

drawing pictures) in my free time.

Write your answer I enjoy drawing pictures in my

Ask your friends and write their answers (2 boys and 2 girls) free time.

Name	Answer
Nozomi	listen to music
Ham	go shopping
Sota (Hirano)	listen to music
Ayumi (Gunji)	play videogames

Write your friends' answers:

1. Nozomi enjoys listening to music in her free time
2. Ham enjoys going shopping in her free time.
3. Hirano enjoys listening to music in his free time.
4. Gunji enjoys playing videogames in his free time.

Count how many friends enjoy the activities

time.

Watching TV 0 Playing videogames 1 Reading books 0

Listening to music 2 Other 1

What is popular with your friends?

(Watching TV / Playing videogames / Reading books / Listening to music)

) is popular with my friends.

Write it out

Listening to music is popular with my
friends.

○積極的に英語で話すことができた。

○好きなことを友達とたずねあうことができた。

A

B

C

A

B

C